

## 第31回法人会全国青年の集い高知大会報告

公益社団法人伊野法人会  
青年部会長 西川 健二

平成29年11月9日、10日に「第31回法人会全国青年の集い 高知大会」が高知県法人会連合会主管のもと開催されました。

この大会を魅力あふれるものにする為、入念な大会準備・積極的な広報活動など土佐流のおもてなしを盛り込んだ企画内容を充実にする為、実行委員会で何度も会議を重ねてまいりました。

大会スローガン【未来に継（つな）ぐ絆 志國高知】のもと、高知県下6単位会部会員の力を結集し、大会会長の宣言どおり大会成功という同じ志のもとに「つながり」をより一層強化し「高知はひとつ」という「絆」を強め、全国各地よりお越しいただいた法人会会員や関係者の皆様に県内の豊かな自然、歴史、風土、食を感じていただき、全国規模の法人会メンバーがひとつとなり未来の繁栄の礎となれた大会であったと実感しております。

全国からおよそ2400名の青年部会が集結し、伊野法人会からは、2日間で40名を超えるスタッフの協力があり、改めて「絆」を感じました。

会場に併設されたみどりの広場での物産展コーナー、高知県出身の間寛平さんの記念講演、大会式典では、全法連会長の小林様からのご挨拶で、税のオピニオンリーダーである法人会として今後、税知識の普及をどうしていくか、いかに正しい知識と情報を身につけるかという法人会活動の根幹を成す話をしてくださいました。

また、前日に行われた租税教育プレゼンテーションで最優秀となった福岡法人会による租税教室の実演は素晴らしく、伊野法人会としても、未来を担う子供たちに税金について興味を持ってもらい、税金は払うものではなく、納めるものだということ未来を創っていく大切なものであることを伝える租税教室を、より一層発信していきたいと強く感じました。

12月13日には、高知大会の報告会を開催し、伊野法人会の代表として参加した、租税教育プレゼンテーション、部会長サミット、記念講演、大会式典の内容をスタッフや関係者などに報告し、今後の伊野法人会の活動に活かしていく予定です。

本当に、協力して下さった関係者の皆様方に、心より感謝いたします。